

2022(令和4)年度 沖縄国際大学一般選抜試験問題

【選択科目：日本史 B】

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 入学志願票及び受験票に記入された科目を解答すること。
3. 入学志願票及び受験票に記入された以外の選択科目を解答した場合は、無効とする。
4. 筆記用具は、鉛筆（HB）または、0.5 ミリのシャープペンシル（HB）に限る。
5. 問題の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもよい。
7. 試験終了後、解答用紙のみを提出すること。問題冊子は持ち帰ること。

2022(令和4)年度 沖縄国際大学一般選抜試験問題

【日本史B】

※ 解答はすべて解答用紙に記入すること。解答は漢字を基本とします。誤字やかな書きは減点することがあります。

I. 次の史料を読んで、各問に答えなさい。

(文明十七年十二月十一日) 今日山城国人集会す。上は六十歳、下は十五六歳と云々。同じく一国中の土民等群衆す。今度両陣の時宜を申し定めんがための故と云々。しかるべきか。但し又下極上のいたりなり。

(文明十八年二月十三日) 今日山城国人、平等院に会合す。国中の掟法なお以てこれを定むべしと云々。およそ神妙。但し興成せしめば、天下のため、しかるべからざる事か。

(『大乘院寺社雑事記』、原漢文)

問1 この史料に記されたできごとを何というか書きなさい(A)。また、史料の文明十七年は西暦ではいつか、下記から選んで記号で答えなさい(B)。(各2点)

ア. 1467 年

イ. 1477 年

ウ. 1485 年

問2 文中に見える「国人」は次のどれに相当するか、下記から選んで記号で答えなさい。(2点)

ア. 守護大名

イ. 地方在住の武士

ウ. 管領

問3 文明十七年十二月十一日の記事で「国人」が集会し、「土民等」が群衆したのは「両陣」(両派)の軍が撤退するころあいなどの申し入れを決定するためであった。現地で争っていたのは誰と誰の軍か、下記から選んで記号で答えなさい。(2点)

ア. 足利義視と義尚

イ. 細川勝元と山名持豊

ウ. 畠山政長と義就

問4 文明十七年十二月十一日の記事に見える「下極上」は何と読むか、ふりがなを書きなさい (A)。また、その語句の意味を書きなさい (B)。(各2点)

問5 文明十八年二月十三日の記事で、「国人」が会合した目的は何か、文中から16字を抜き出して答えなさい (A)。また、これによって、地域にどのような状態がもたらされたか書きなさい (B)。(各2点)

問6 この史料のできごとのあとでおこったのは次のうちのどれか、下記から二つ選んで記号で答えなさい。(各2点)

ア. ^{ニンポー}寧波の乱

イ. ^{しょうちょう とくせい}正長の徳政一揆

ウ. ^{かきつ}嘉吉の変

エ. ^{かが いっこう}加賀の一向一揆

Ⅱ. 次の文の 1 ～ 15 の空欄に入る語句を、下記の【語群】のなかから選び記号で答えなさい。

(各 1 点)

5 世紀後半から 6 世紀にかけて、(1) を中心としたヤマト政権(大和王権)は、関東地方から九州中部におよぶ地方豪族を含み込んだ支配体制を形成した。豪族たちは血縁^{けつえん}や政治的関係をもとに構成された(2) と呼ばれる組織に編成され、これを単位に政権の職務を分担し、(3) は彼らに地名^{しよくしやう}や職掌などに由来する(3) を与えた。

中央の政治は有力豪族から(4)・(5) が任じられて中枢^{ちゆうすう}を担い、その下の(6) が伴^{とも}や部^べと呼ばれる集団を率いて軍事・財政・祭祀^{さいし}・外交などの職掌を分担した。また、多様な技術や文化を日本に伝えた(7) も、(6) や伴に編成された。有力豪族はそれぞれ私有地である(8) や私有民である(9) を領有し、経済的な基盤とした。

地方豪族からは支配体制拡大に対する抵抗もあった。6 世紀初め、(10) と結んだ筑紫の豪族が大規模な戦乱をおこした(11)。制圧のあと、ヤマト政権は日本列島各地に直轄領^{ちやくかつ}の(12)、直轄民である(13)・(14) の部を設けていった。地方豪族は(15) に任じられ、その地方の支配権を保障される一方、特産物を貢進^{こうしん}し、(12) や(13)・(14) の部の管理をおこなうなどヤマト政権に奉仕するようになった。

【語群】

- | | | | | |
|-----------------------|--------------------------|------------------------|-------------------------|--------------------------|
| ア. 屯倉 ^{みやけ} | イ. 莊園 ^{しやうえん} | ウ. 田莊 ^{た どうら} | エ. 磐井の乱 ^{いわ い} | オ. 壬申の乱 ^{じんしん} |
| カ. 大臣 ^{おおおみ} | キ. 国造 ^{くにのみやつこ} | ク. 国司 ^{こく し} | ケ. 大連 ^{おおむらじ} | コ. 伴造 ^{とものみやつこ} |
| サ. 大王 ^{おおきみ} | シ. 渡来人 ^{と らいじん} | ス. 姓(カバネ) | セ. 冠位 ^{かん い} | ソ. 氏 ^{うじ} |
| タ. 名代 ^{なしろ} | チ. 部曲 ^{かきべ} | ツ. 子代 ^{こしろ} | テ. 百濟 ^{くだら} | ト. 新羅 ^{しら ぎ} |

Ⅲ. 1～5の絵画の【作者】と描かれた【時代】をそれぞれ記号で答えなさい。(各1点)



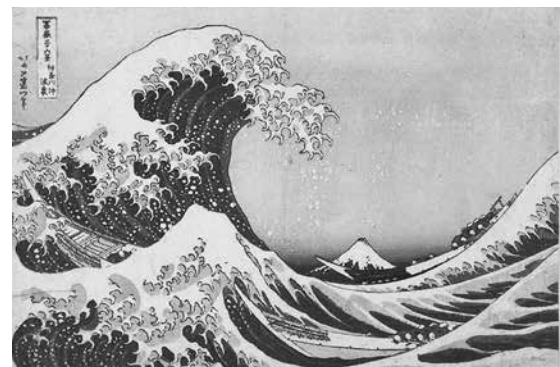
1. 秋冬山水図 (東京国立博物館)



2. 無我 (東京国立博物館)



3. 麗子像 (東京国立博物館)



4. 富嶽三十六景神奈川沖浪裏 (東京国立博物館)



5. 檜図屏風 (東京国立博物館)

【作者】 a. 葛飾北斎 b. 雪舟 c. 横山大観 d. 岸田劉生 e. 狩野永徳

【時代】 ア. 室町 イ. 安土・桃山 ウ. 江戸 エ. 明治 オ. 大正

Ⅳ. 次の史料を読んで、各問に答えなさい。

一、諸国の百姓、刀、脇指、弓、やり、てつはう（鉄砲）其外武具のたぐひ所持候事、堅く御停止候。其の子細（理由）は、(A)入らざる道具をあひたくはへ、年貢・所当を難渋せしめ（年貢や雑税の納入を困難にし）、自然（もしも）一揆を企て、給人に対し非儀の動き（よからぬおこない）をなすやから、勿論御成敗あるべし。（中略）其の国主、給人、代官として、右武具、悉く取りあつめ、進上致すべき事。（第二条略）

一、(B)百姓は農具さへもち、耕作専に仕り候へば、子々孫々まで長久に候。百姓御あはれみをもって、此の如く仰せ出され候。誠に国土安全万民快樂の基なり。・・・

十六年七月八日

（『小早川家文書』）

問1 この史料に書かれた政策を命じた人物は誰か、漢字四文字で書きなさい。（2点）

問2 に入る年号を漢字二文字で書きなさい。（2点）

問3 この史料に書かれた政策が目的としていることは何か、20字以上30字以内で書きなさい。（4点）

問4 下線部（A）の具体例として正しいものを下記から選んで記号で答えなさい。（2点）

- ア. 土一揆
- イ. 血税一揆
- ウ. 世直し一揆

問5 下線部（B）に関連して、武家奉公人が町人や農民になったり、農民が耕地を捨てて商人になったりすることを禁じた命令を何というか、書きなさい。（2点）

問6 この史料と同時期の土地政策として正しいものを下記から選んで記号で答えなさい。（2点）

- ア. 年貢の徴収を確実にを行うため、田畑永代売買の禁令が出された。
- イ. 荘園の増加が国衙領を圧迫しているため、荘園整理令が出された。
- ウ. 荘園制のもとで一つの土地に権利が重なりあう状態を整理し、検地帳に耕作している農民の田畑と屋敷地を登録した。

問7 この史料と同時期の経済政策として正しいものを下記から選んで記号で答えなさい。

(2点)

- ア. 年貢を物納から金納に改めて税率を地価の3%とした。
- イ. 土地測量の基準を統一し、全国の村の田畑・屋敷地ごとに等級を定め、それにもとづいて決定した石高こくだかによって年貢を定めた。
- ウ. 民衆に租・調・庸・雑徭などからなる負担が課せられた。

問8 この史料と同時期の対外政策として正しいものを下記から選んで記号で答えなさい。

(2点)

- ア. 海賊取締令を出して倭寇わこうなどの海賊行為を禁止し、海上支配を強化した。
- イ. 中国船を除く外国船の寄港地を平戸ひらどと長崎に制限した。
- ウ. 最上徳内もがみとくないらを蝦夷地えぞちに派遣して、その開発やロシア人との交易の可能性を調査させた。

問9 この史料と同時期の宗教政策として正しいものを下記から選んで記号で答えなさい。

(2点)

- ア. 古代以来の神仏習合しんぶつしゅうごうを禁じて神道を国教とする方針を打ち出した。
- イ. 寺院が檀家だんかであることを証明する寺請制度てらうけを設けて宗門改めしゅうもんあらたを実施した。
- ウ. 大村純忠おおむらすみただが長崎をイエズス会に寄進していることがわかり、パテレン追放令を出して宣教師の国外追放を命じた。

V. 次の文の 1～15 の空欄に入る語句を、下記の【語群】のなかから選び記号で答えなさい。

(各 1 点)

明治維新後、欧米の近代思想や政治制度が紹介されるようになった。人間の平等と民主主義思想を説いた福沢諭吉の(1)はベストセラーとなり、(2)が翻訳した『西国立志編』は、青年たちに大きな影響を与えた。1873(明治6)年、森有礼、福沢諭吉、(2)、西周らは(3)を結成して近代思想の普及につとめた。

1874(明治7)年1月、征韓論にやぶれて参議を辞職した板垣退助らが、(4)を政府に提出した。それは、官僚が政権を独占している現状を批判し、議会の開くように要求したものであった。(4)は新聞に発表され、議会をすぐにひらくべきか否かをめぐる論争がおこった。はげしく政府を攻撃する新聞があらわれ、民権派の雑誌も創刊された。おもな書き手は、政府に不満をいだく(5)であった。これに対し政府は、1875(明治8)年6月、(6)と議院弾圧を定め、記者を投獄するなどして弾圧を強めた。

1874(明治7)年4月、板垣らは土佐に(7)を創立し、人はうまれつき平等であり、どのような権力も権利をうばうことはできないと宣言した。これに続いて各地で士族中心の結社が結成された。また、1875(明治8)年2月、板垣らは、全国の結社の連絡組織として、大阪で(8)を創立した。

こうした動きに対し、内務卿として政府の実権を握る(9)は、台湾出兵に反対して辞職した木戸孝允、板垣と大阪会議を開いて、二人の復職を条件に立憲政体を目指すことを約束した。これを受けて政府は、1875(明治8)年4月、(10)を出した。また、三権分立をめざして、最高裁判所にあたる(11)、立法の諮問機関としての(12)、府知事・県令からなる(13)を設置した。

1880(明治13)年3月、(7)は国会開設をめざす全国組織として、大阪で(14)を結成し、4月、国会の開設を求める請願書を政府に提出したが受理されなかった。各地の代表者も続々と上京し、建白書や請願書を政府に提出しようとした。政府はこれらを受け入れず、集会・結社を規制する(15)を定めて取り締まりを強めた。

【語群】

ア. 枢密院

イ. 新聞紙条例

ウ. 森鷗外

エ. 士族

オ. 漸次立憲政体樹立の詔

カ. 府県会

キ. 立志社

ク. 元老院

ケ. 地方官会議

コ. 国会期成同盟

サ. 西郷隆盛

シ. 西域物語

ス. 御前会議

セ. 学問のすゝめ

ソ. 中村正直

タ. 平民

チ. 大審院

ツ. 明六社

テ. 大教宣布の詔

ト. 愛国社

ナ. 集会条例

ニ. 大久保利通

ヌ. 民撰議院設立建白書

Ⅵ. 次の各文の下線部分が正しければ○をつけ、間違っていたら正しい語句を書きなさい。

(各2点)

1. 青森県の三内丸山遺跡は、弥生時代に長期にわたって存続した大規模な集落遺跡として注目を集めている。
2. 710(和銅3)年、元明天皇は平安京から、奈良の平城京へと遷都した。
3. 紫式部によって書かれた『枕草子』は、宮廷生活の体験を随筆風に記した文学作品である。
4. 鎌倉時代に浄土教の流れからでた一休は、善人・悪人の信心の有無を問うことなく、全ての人が救われるという念仏の教えを説いた。その教えは時宗と呼ばれ地方の武士や庶民に受け入れられた。
5. 織田信長は、1560(永禄3)年に今川義元を桶狭間の戦いで破り、やがて美濃の斎藤氏を滅ぼすと濃尾平野を支配、戦国大名の中で最初に全国統一に乗り出す第一歩となった。
6. 第五代将軍徳川綱吉は仏教に帰依し、1685(貞享2)年から20年余りにわたって服忌令を出して極端な動物愛護政策を行った。
7. 江戸幕府は日本近海を航行するイギリスやアメリカなどの船に対して、1825(文政8)年に薪水給与令を出し、外国船を撃退するよう命じ、いわゆる鎖国体制を強化した。
8. 土佐藩出身の坂本龍馬は、長崎で海援隊を組織し、薩長同盟の仲介や公議政体に基づく新国家を構想したが、1867(慶応3)年に京都で暗殺された。
9. 第二次世界大戦後の沖縄は日本から切り離され、アメリカ軍の直接軍政下におかれた。日本に返還されるのは、1968年まで待たなければならなかった。
10. 国際貢献を目的とし、日本は1992(平成4)年にNPO法を成立させ、カンボジアへの停戦監視要員などとして自衛隊を海外へ派遣した。